

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第6回 通常総会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第6回 通常総会が6月21日(水)午後2時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で会員462名(委任状を含む。)が出席して開催されました。愛知県の要請にて、ダイコー(株)に保管されていた産業廃棄物の撤去が終了し、廃棄物処理法の改正等、社会情勢は刻々と変化しております。こうした中、協会事業が社会的にも期待されており、総会では新しい風となる役員改選も満場一致の拍手のもと承認されました。



一般社団法人愛知県産業廃棄物協会 第6回 通常総会は、常務理事 梅村正裕氏の司会進行、副会長 小島 晃氏の開会の辞にて始まりました。開会の挨拶で会長 永井良一氏は「昨年に発覚したダイコー（株）の不適正処理事案は、食の安心安全を脅かすなど、食品衛生上の問題で消費者の皆様にも多大なご迷惑・ご心配をおかけしました。当協会としては二度とそのような事態を招致させないよう厳格な対応を図り、一層コンプライアンスの徹底に努め、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用について認識を新たにし、当協会の掲げる生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源の効率的活用を図り、もって県民の福祉の向上に寄与することに尽力していきたいと思っております。



開会の辞を述べる
小島副会長



開会挨拶をする
永井会長

また、社会貢献の一環として、愛知県から協力の依頼がありました、ダイコー（株）に保管されていた産業廃棄物の撤去については、平成28年6月21日から協会の協力を得て、ボランティアによる収集運搬作業を行い、平成29年2月8日をもって終了しました。ご協力をいただきました協会の皆様、本当にありがとうございました。

さて、昨年4月に発生した熊本地震では環境省の発表では、289万トンの災害廃棄物が発生し平成29年4月末時点の処理の進捗率は61%、また倒壊した家屋の解体の進捗率は平成29年5月末の時点で68%となっており、一刻も早い被災地の復興を願っております。この地方に目を向けますと、南海トラフを震源とする巨大地震が今後30年以内に起こる確率が70%程度といわれ、この地震によって発生する災害廃棄物は、最大約3億5千万トンと推定されており、建物被害・人的被害は甚大なものと予測しております。当協会では万が一被災にあった場合、迅速かつ適正に対応するために、災害廃棄

物処理対策に関する特別委員会を中心として、業務継続計画（BCP）を策定し市町村との顔の見える関係を構築し、万全な備えとなるよう取組を進めております。また、県内全54市町村と締結した協定に基づき、着実な防災対策が築きあげられますよう進めて参ります。あつてはならないことですが、万が一被災した場合には、会員の皆様が日頃培った分別収集処理のノウハウや、会員企業が持つ資機材と機動力が必要であり、災害発生時において全面的な支援と協力を、お願いしたいと考えております。

次に廃棄物処理法の見直しについてですが、全国産業廃棄物連合会がまとめた廃棄物処理法の見直しの29項目について要望の一部が6月16日公布された改正廃棄物処理法に反映されました。残った要望につきましては今後の政令省令等の改正で対応されるものと理解しております。また、5月19日に環境省が産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言を、取りまとめて公表を行いました。産業廃棄物処理業の成長に向けた振興方策が具体的に示され、国、地方公共団体、産業廃棄物処理団体、排出事業者、地域住民の役割分担が示されており、産業廃棄物処理業が循環型社会形成へのインフラ産業として今後の益々の業界の振興を目指し、業法の整備に向けた第一歩を踏み出したことは大変喜ばしいことだと思っております。私どもの業界は、製造品出荷額等が38年連続日本一を続けるものづくり愛知を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。当業界を取り巻く景況動向はまだまだ厳しい経営環境の中ではありますが、将来に向かっ



議長の平沼副会長

て更なる発展をしていくためには、会員の皆様と力を合わせて資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現に向けて寄与して参りたいと考えております。」と述べました。

議案審議は、議長に副会長 平沼辰雄氏、議事録署名人として、平沼議長、永井良一氏、金田英和氏、伊藤泰雄氏が選任され審議が行われました。

■第一号議案 平成28年度事業報告承認について

■第二号議案 平成28年度収支決算報告承認について

■第三号議案 任期満了に伴う役員改選について



議案説明をする
渡邊専務理事

第一号議案と第二号議案は関連があるため一括審議され、専務理事 渡邊 修氏より説明があり、監事 石川信夫氏から監査報告の後、議案は承認されました。第三号議案は渡邊専務理事から役員改選にあたり、青年部から

の登用、女性の登用等についての経緯が述べられ、理事候補、監事候補が一括審議され、拍手をもって承認されました。その後、一旦休会し臨時理事会が別室にて開催され、代表理事、業務執行理事を選任し、再開した総会会場にて平沼議長より発表されました。新役員を代表して永井会長は「会長に選任されました永井です。29年度・30年度の2年間、理事22名、監事2名で運営させていただきます。今まで以上に皆様方のご協力をよろしくお願いいたします！」と新任の挨拶をしました。

次に、今回役員をご退任される方々の紹介があり、会場から感謝の意を込めた拍手が贈られました。

全ての議案審議が終了し、平沼議長は議長を退任され、閉会の辞を常務理事 石山 進氏が述べ総会は閉会しました。



■平成29年度・30年度

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 役員名簿

役職	氏名	会社名・役職
会長	永井 良一	永一産商(株) 代表取締役
副会長	小島 晃	(株)明輝クリーナー 代表取締役
副会長	平沼 辰雄	(株)リバイブ 代表取締役会長
専務理事	渡邊 修	(一社)愛知県産業廃棄物協会 専従役員
常務理事	近藤 千雅	中部保全(株) 常務取締役
常務理事	中野 兼司	(株)東伸サービス 代表取締役
理事	加山 昌弘	加山興業(株) 取締役会長
理事	新家 義彦	(有)ホクトサービス 代表取締役
理事	金田 英和	サンコーリサイクル(株) 代表取締役
理事	伊藤 泰雄	(株)ダイセキ 専務取締役
理事	新美 三良	(有)三洋サービス 代表取締役社長
理事	富田 昭夫	(株)富田商店 代表取締役
理事	相木 徹	オオブユニティ(株) 代表取締役
理事	松井 忠博	(有)松井工業 代表取締役
理事	金田 英治	三洲土木(株) 代表取締役
理事	天野 邦彦	岡崎技研(株) 代表取締役
理事	川合 邦史	(有)リプロ 代表取締役
理事	中嶋 政秋	長坂建設興業(株) 常務取締役
理事	佐藤 明生	東亜合成(株) 執行役員名古屋工場長
理事	土田 浩通	(一社)愛知県建設業協会 上席
理事	東久保真弓	(有)愛知環境センター 代表取締役
理事	近藤 大樹	中部保全(株) 所長
監事	石川 信夫	(有)アイミ 代表取締役会長
監事	鶴山 圭一	(株)星野産商 専務取締役

平成29年度 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 会長表彰

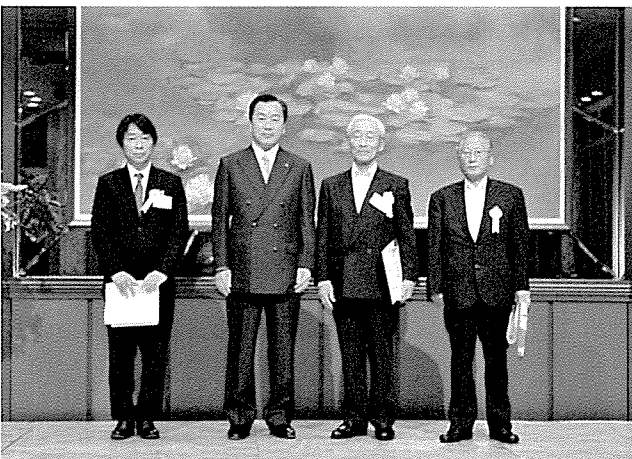
総会終了後会長表彰が行われ、産業廃棄物処理事業の発展に寄与された「特別功労者」表彰9名、「功労者」表彰3名、「優良事業所」表彰3社、「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。



特別功労者表彰を受賞された皆さん

【特別功労者表彰】

石山 進	株式会社 エヌジェイエス
梅村 正裕	株式会社 鈴鍵
黒川 明	福田三商株式会社
石川 延宏	東亜合成株式会社
竹内 良一	名環サービス株式会社
門川 浩人	株式会社 竹常
鬼頭 正克	一般社団法人 愛知県建設業協会
永田 幹人	株式会社 エイゼン
高木 英泰	株式会社 富士石油商会



功労者表彰を受賞された皆さん

【功労者表彰】

相木 徹	オオブユニティ株式会社 (尾張南支部)
八代 信	株式会社 三河オイルセンター (西三河支部)
安井 康二	前芝建材株式会社 (東三河支部)



優良事業所表彰を受賞された皆さん

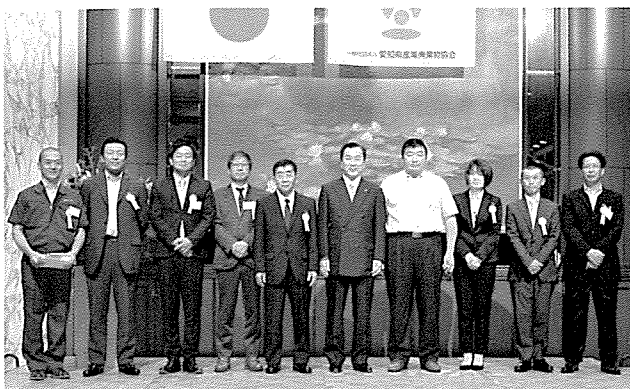
【優良事業所表彰】

有限会社 浅井商店／代表者 浅井明利	(名古屋支部)
株式会社 クリントック／代表者 東 賢一	(尾張西支部)
名環サービス株式会社／代表者 竹内良一	(尾張北支部)

[優良従事者表彰]

井村 健	株式会社 ヒロコム (名古屋支部)
細川 恵示	有限会社 ゼンユウ (名古屋支部)
富吉 裕二	株式会社 エコフォレスト (名古屋支部)
後藤 茂雄	丸真株式会社 (尾張西支部)
村雲 康晴	株式会社 ディーアイディー (尾張西支部)
佐々木正一	株式会社 長田清掃 (尾張北支部)
鈴木 英成	有限会社 伸和环境 (尾張北支部)
榎原 修司	株式会社 アグメント (尾張南支部)
伊山 貴章	株式会社 中部リサイクル工業 (尾張南支部)
杉山 親友	サンエイ株式会社 (西三河支部)
磯部 智宏	有限会社 生駒組 (西三河支部)

高山 昇	有限会社 サンヨウ (東三河支部)
清水 光永	有限会社 清水商店 (東三河支部)



平成29年度 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 会長感謝状

稲沢市で発生した食品廃棄物の不適正保管にかかる撤去に協会を代表して寄与し、地元の生活環境の改善に尽力されたことに対し、協力された36社の皆さんに感謝状と記念品が手渡されました。

I B ミヤザワ株式会社 / 杉山英孝
有限会社 愛西クリーンセンター / 辻 朝子
株式会社 海部清掃 / 加藤慎史
株式会社 アメニティライフ / 堀川康俊
株式会社 金光 / 金光相雲
株式会社 クリントック / 東 賢一
株式会社 コンフォート / 佐藤 斉
株式会社 ディーアイディー / 国本茂雄
株式会社 富田商店 / 富田昭夫
永井産業株式会社 / 永井宏典
有限会社 ホクトサービス / 新家義彦
永一産商株式会社 / 永井良一
株式会社 エコ・ポリス / 長田修明
サンスイサービス株式会社 / 大岡洋三
株式会社 シミズ / 清水善実
昭和サービス株式会社 / 服部直昌
大昭工業株式会社 / 木村諭意智
株式会社 ダイセキ / 柱 秀貴
名古屋コンテナ株式会社 / 古賀和夫
株式会社 紙資源名古屋 / 加藤友美
株式会社 三輝 / 浅野健治
三和清掃 株式会社 / 宮川賢生

有限会社 伸和环境 / 長内 正
第一環境株式会社 / 長内敏将
坪井金属有限会社 / 坪井孝憲
株式会社 東伸サービス / 中野兼司
フジ建設株式会社 / 高山靖徳
株式会社 リョクリン / 鈴木隆真
株式会社 上野清掃社 / 新井栄清
株式会社 エイゼン / 永田喜裕
有限会社 ケイ・サポート / 木村圭介
株式会社 タツノ開発 / 森下大樹
オオブユニティ株式会社 / 相木 徹
サンエイ株式会社 / 神谷武之
豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 / 荒木俊雄
公益財団法人 愛知臨海環境整備センター / 伊藤範久



政界・行政関係者の方から愛産協・協会員へ 感謝の言葉が贈られた懇親会

懇親会は第6回通常総会后、同ホテル7階ザ・グランコートにおいて352名が参加して開催されました。来賓として、政界、行政関係、関係諸団体から多数ご列席を賜り、壇上にご着席されました。

開会の辞を副会長 小島 晃氏が述べ、公務の関係で冒頭に愛知県知事 大村秀章氏から来賓挨拶があり「去年は1月にダイコーの問題があり、皆様にご尽力いただき感謝申し上げます。食品廃棄物の横流しという事で愛知県の廃棄物行政にとって大変由々しき事件がおきました。廃棄物行政、環境行政のみならず食の安全性の信頼を脅かす事態でありました。昨年1月に事件が発覚をし、腐敗が進む中で6月に協会の皆様に無償で処理と運搬についてご支援いただき、本年2月に何とか処理が済みました。心から感謝を申し上げます。今一度しっかり検証し反省をしながら地域の皆様の信頼を勝ち得るように協会の皆様のご協力をいただき、廃棄物の事業、制度について検討していきたいと思ひます。



来賓挨拶をする
大村愛知県知事

愛知は圧倒的なものづくりの産業県でありましてこの地域の産業が廻っていく為には廃棄物処理産業によって支えていただき、この産業が前に向かって廻っていくように、施策担当行政も皆様と一緒に進めていきたいと思ひます。県民の豊かな生活を守る上でも愛知県産業廃棄物協会が不可欠でありますので、今後ともお力添えをいただければと思ひます。」と述べました。

永井良一会長は開会挨拶で「去年の1月に発覚したダイコーの不適合処理事案ですが、今まで積み上げてきた産業廃棄物処理業界の社会的信頼を大きく失墜させるものであり、誠に遺憾な事件でありました。社会貢献の一環として、愛知県から協力依頼のあ

りました、ダイコーに保管されていた産業廃棄物の撤去につきましては、平成28年6月21日から協会の協力をいただき、ボランティアによる収集運搬作業を行いまして、平成29年2月8日をもって全て終了しました。ご協力をいただきました協会の皆様、先程の表彰式で感謝状を授与させていただきましたが、本当にありがとうございました。

また、昨年4月に発生した熊本地震では、環境省の発表によりますと289万トンもの災害廃棄物が発生し、平成29年4月末時点の処理の進捗率は61%となっており、また、倒壊した家屋の解体進捗率は平成29年5月末時点で68%となっており、まだまだその対策に追われています。一刻も早い被災地の復興を願っています。

一方、この地域においては、南海トラフを震源とする巨大地震が、今後30年以内に発生する確率が



開会の辞を述べる小島副会長と来賓の皆さん

当協会として二度とその様な事態を生じさせない様、厳格な対応を図り、これを契機に、より一層、コンプライアンスの徹底に努めて、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用について認識を新たにし、当協会の目的である「生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに資源の効率的活用を図り、もって県民の福祉の向上に寄与する」ことに尽力いただきたいと思います。

また、昨年4月に発生した熊本地震では、環境省の発表によりますと289万トンもの災害廃棄物が発生し、平成29年4月末時点の処理の進捗率は61%となっており、また、倒壊した家屋の解体進捗率は平成29年5月末時点で68%となっており、まだまだその対策に追われています。一刻も早い被災地の復興を願っています。

一方、この地域においては、南海トラフを震源とする巨大地震が、今後30年以内に発生する確率が

70%程度と言われております。当協会においても、あつてはならない災害ではありますが、万一、災害が発生した場合には、復旧・復興のため行政機関をはじめとする関係機関との連携を密にし、迅速・的確に対応できるよう、会員の皆様はもとより、広域に及ぶ場合は、全国産業廃棄物連合会等との連携を図り、相互協力が円滑に行えるよう、体制をしっかりと整備していくこととしております。

私どもの業界は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が38年連続日本一を続ける、この「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。

このことを、地域社会の人々に、正しく評価・理解をしていただくために、会員の皆様と一体となって、各種の社会貢献を通じ、努力を積み重ね、更なる協会の発展を目指してまいりたいと存じますので、皆様方の全面的なご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。」と述べました。

環境省中部地方環境事務所 所長 三村起一氏からは「協会の皆様には日頃から産業廃棄物の適正処理、不法投棄監視パトロールの実施や撤去作業等にご協力頂き感謝申し上げます。今年は廃掃法の見直しの年であり、今回の改正では許可の取消要件やマニフェスト制度の強化等が図られ、3年以内に政省

令等により施行されます。昨年の不適正処理事案につきまして、再発防止策として排出者責任が強化され、各自治体において排出者に対する指導が行われると思います。災害時の廃棄物の適正処理に関し、中部ブロックの主要な県や市等の行政機関、関係団体により構成されております大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会を通じましても積極的にご協力をお願いいたします。」と述べました。

その後来賓の方々のご紹介後、副会長 平沼辰雄氏の乾杯の発声を機に会食が始まりました。会場は多数の人が立食形式で食事を楽しみ、会員同士が和やかに歓談する声や、仕事の状況について語り合うなど、賑やかな雰囲気に包まれました。

懇親会は常務理事 近藤千雅氏の閉会の辞にてお開きとなりました。



来賓挨拶をする
中部地方環境事務所
三村所長



平沼副会長による乾杯

懇親会来賓者一覧

(順不同)

愛知県知事	大村 秀章	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会	
自由民主党副幹事長 参議院議員 酒井庸行様		専務理事 松浦 敏明	
(秘書) 黒川 富彦		一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長 木村 亮一	
自由民主党参議院議員 産業・資源循環議員連盟		一般社団法人 三重県産業廃棄物協会	
事務総長 片山 さつき様 (秘書) 野尻 護		専務理事 筒井 照雄	
環境省中部地方環境事務所 所長 三村 起一		愛知県中小企業団体中央会 労働企画部長 太箸 俊一	
環境省中部地方環境事務所		一般社団法人 中部経済連合会	
廃棄物・リサイクル対策課 課長 水原 健介		産業振興部長 祖山 薫	
環境省中部地方環境事務所 廃棄物対策等調査官 板倉 克宏		一般社団法人 愛知県建設業協会 上席 土田 浩通	
愛知県環境部長 菅沼 綾子		愛知県衛生事業協同組合 理事長 永田 喜裕	
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長 浅井 隆行		愛知県衛生事業協同組合 事務局長 伊藤 勝至	
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長 粥川 長司		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長 新美 三良	
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会		名古屋市一般廃棄物事業協同組合	
専務理事 伊藤 誠紀		事務局長 工藤 淳	
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 会長 鈴木 洋佑			